



やらまいか

クラブテーマ：スマイルロータリー、新時代へ進化

会長／太田 稔 幹事／池田 弘 会報委員会／乙部享祐・杉浦和人・原田浩史

例会会場／毎週火曜日 12:30 豊川商工会議所 事務局／豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内

TEL: 0533-86-2535 Fax: 0533-86-8889 HP: <http://toyokawahoi.tank.jp/>

| | | | | | |
|--|------|------|------|-------|-----------|
| 本年度第 27 回 通算 1748 回 2024 年 3 月 26 日 (火) | 出席報告 | 会員総数 | 出席者数 | 出席率 | 3/5 修正出席率 |
| | | 73 名 | 37 名 | 58.7% | 73.4% |

ゲスト：豊川市内 4 高校の生徒・教諭 20 名 (Zoom 参加者も含む) ビジター：(なし)

★会長あいさつ

太田稔会長



皆さん、こんにちは。毎週火曜日になると雨が降るように気がしております。

まず、豊川アスリートサポーターズクラブから、先

日 3 月 17 日に行われた走りん祭のお礼状が届いています。この日も雨が降ったりやんだりの天気でしたが、皆さん楽しんで参加されていました。会員の皆さんのご協力ありがとうございました。

それから、私事ではありますが、日曜日に穂の国ハーフマラソンに 5 年ぶりに走ってきました。この日もとても寒くて雨の中走らせて頂きました。過去最低の成績ではありましたが、高校生のボランティアの方もたくさんいて、ボランティアの方々の応援もあって、何とか完走できたということでご報告しておきます。豊川で行われているリレーマラソンやトヨカワシティマラソンとは規模も違って、ボランティアの人数も多くて、給水所にも多くのボランティアの人たちがいて、よくこれだけの人を集めたなと思いました。今日は、高校生の皆さんのボランティア活動の発表なので、イベントのボランティアもあることを紹介させてもらいました。

今日は、年に 2 回の高校生のボランティア活動の報告をして頂きます。今年は能登半島の震災もありましたので、そういう事でまたボランティアっていうのはすごく

活発になっているように思います。この後の高校生の皆さんからの活動報告を楽しみにしています。本日はよろしくお願いします。



太田会長ご本人が撮影・マラソンスタート時のももクロの応援

★幹事報告

池田弘幹事

例会臨時変更のお知らせ
次回例会のお知らせ

★青少年奉仕委員会担当例会

委員長あいさつ

度会秀子委員長



高校生の皆さん、ようこそ。今日は半年に一度のボランティアの活動報告をして頂くということ、とても楽しみにしています。

宝陵高校さんと小坂井高校さんは、本日ご欠席とのことです。4 校の御津あおば高校さん、国府高校さん、豊川高校さん、Zoom

参加の豊川工科高校さん、それぞれの活動を元気に発表して頂きたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

御津あおば高校のボランティア活動発表



皆さん、御津あおば高校生徒会執行部です。本日はご多忙の中、私たちに貴重な時間をくださりありがとうございます

です。本日はこの時間を使って私たち生徒会の活動報告をさせていただきますと思います。

私たちはこの半年間で主に5つの活動に力を入れてきました。

1つ目はエコキャップ運動です。御津あおば高校では、例年エコキャップ運動に力を入れています。エコキャップ運動とは、ペットボトルのキャップを回収し、そのリサイクルに発生した利益を発展途上国の子供たちのワクチン代として寄付する活動です。この運動を促進することは、近年重要視されているSDGsの目標にも当てはまります。

御津あおば高校では、「MVP」御津ボランティアプロジェクトという組織が率先してエコキャップ運動に尽力し、全校生徒への呼びかけを行っています。昨年度は約60キロのエコキャップが集まり、全校生徒が少しずつ前向きに協力してくれていると感じました。

次に赤い羽根共同募金についてお話をします。御津あおば高校では、募金活動を通して社会福祉の関心を高めることを目的として毎年赤い羽根共同募金を行っています。今年度は11月13日14日の2日間で募金を呼びかけました。募金のために普段よりも早く登校してくれた生徒や2日も募金してくれた生徒などたくさんの生徒が積極的に協力してくれました。教室や廊下では、胸ポケットや筆箱に赤い羽をつけている生徒の姿もありました。またお昼の時間には職員室や事務室に募金の声掛けを行い、先生方にも募金に協力して頂きました。こうした生徒や先生方のご協力のお陰で、2日間で8,637円集まり、集まったお金は豊川市共同募金委員会に寄付しました。

次に能登半島地震義援金募金についてお話をします。今年2024年の1月1日石川県能登半島でマグニチュード7.6の大地震が発生しました。御津あおば高校では、この地震で被災された方々への支援を目

的として1月22日23日の2日間にわたり募金を行いました。私たちの住む地域に直接的な被害はありませんでしたが、朝早くから行った募金にはたくさんの生徒の姿がありました。また、初めは生徒会のメンバーのみで声掛けをしていましたが、次第に協力してくれる生徒が増え始め、最後には生徒会の声が聞こえないくらいに募金を求める声が響き渡りました。そんな全校生徒一人一人の積極的な協力のお陰で、2日間で合計27,520円が集まり、集まったお金は石川県のホームページを通して直接石川県へ寄付をしました。

次にRedioMitoについてお話をします。御津あおば高校では、毎週水曜日と金曜日のお昼休憩に「RedioMito」というラジオ放送をしています。生徒会メンバーが順番制でDJを務めて、その週のイベントや学校行事についてお話をします。テスト前には、効率のよい勉強法を話したり、英検の前には面接の所作の確認をしたりと実践的な内容もあります。また放送の最後には、生徒からのリクエスト曲を流していて、様々な曲が彩ってくれます。元々は、コロナ禍で黙食をしなければならないときに食事の時間をもっと盛り上げたいと先輩の想いから始まったRedioMitoですが、普通通りの生活に戻った今でも私たちの声に耳を傾けてくれる生徒がたくさんいます。

最後に中庭美化活動についてお話します。私たちの通う御津あおば高校には、ほとんどの教室や廊下から見る事ができる大きな中庭があります。中庭では、ロータリークラブの皆さんの協力のおかげできれいな花が咲いており、中庭を見るたびにその綺麗な花たちが目を引きまします。そんな憩いの場である中庭美化活動を昨年の10月に生徒会とMVPのメンバーで行いました。みんなで落ち葉を拾ったりブラシでタイルを磨いたり、新しい花を植えたりしました。炎天下での作業は疲れましたが、より一層美しくなった中庭を見てとても達成感を味わうことができました。この先もずっとみんなの憩いの場である中庭を美しく使っていきたいです。

私たちは、この半年間、生徒会執行部として、いま述べたような活動に力を入れてきました。今後も私たちの大好きな御津あおばが生徒だけじゃなく、地域の方々にも愛されるような存在になれるよう、私たちが率先して御津あおばを作り上げていきたいと思っています。ご清聴ありがとうございました。

国府高校のボランティア活動発表



皆さん、こんにちは。ただいまから国府高校、後期生徒会の活動報告をします。今日の発表は生徒会執行部の日浦と田中

が行います。よろしくお願いします。

私たちは、学校周辺清掃ボランティア、アイシティ eco プロジェクト、赤い羽根共同募金、能登半島地震支援募金の4つのボランティア活動を行いました。一つ一つの活動内容を紹介していきたいと思います。

まず学校周辺清掃ボランティアについて紹介します。2023年12月5日に校内校外の学校付近のゴミを拾う学校周辺清掃ボランティアを行いました。この活動では24の部活動の生徒及び個人参加の生徒の合計、およそ400名の生徒が参加しました。写真は活動中の校内の様子です。部活動ごとに割り振られた清掃場所で、参加者同士が協力して、側溝に溜まった土を掘り出したり、落ち葉をかき集めたりする姿が見られました。また、校外の活動では写真のようにタバコの吸い殻から食品の袋まで様々な種類のゴミを見つけ、一生懸命拾う参加者の姿が見られました。1時間ほどの活動でしたが、たくさんのゴミが回収されました。山積みになったゴミ袋を見て、誇らしげな様子の参加者の姿が印象に残っています。自分たちや地域の人が利用する地域を綺麗にすることは、疲れ以上のやりがいを感じました。この素敵な活動を今後も続けていきたいです。

次にアイシティ eco プロジェクトについて紹介します。前期に続いてこのプロジェクトに参加しました。このプロジェクトは、使い捨てコンタクトレンズのケースを集め、リサイクルをすることでCO2の削減の効果などがあります。後期だけでゴミ袋が満杯になるぐらいのケースが集まりました。

続いて赤い羽根共同募金について紹介します。10月31日から11月2日の三日間で募金を実施しました。教室だけでなく職員室や購買でも募金を呼びかけました。その結果、多くの方が協力をしてくれて、およそ30,000円募金が集まりました。集まった募金は、豊川市共同募金委員会に届けました。

最後に能登半島地震支援募金について紹介します。この募金は、他校の生徒会が実施すると聞いて、

国府高校でも募金活動をしようと考えて、生徒会中心に募金を呼びかけました。1月30日から2月1日の三日間で行いました。赤い羽根共同募金と同じ場所で募金を呼びかけ、約10万円募金が集まりました。この募金は義援金として活用してもらえよう日本赤十字社に振り込みました。

以上で国府高校後期生徒会の活動報告終わります。今期のボランティア活動を活かし、来年度もボランティアに積極的に取り組み、学校だけでなく地域の役に立っていきます。ご清聴ありがとうございました。

豊川高校のボランティア活動発表



皆さん、こんにちは。豊川高校、令和5年度後期生徒会執行部です。今日は、この半年間に豊川高校で行ったボランティア活動について

お話をします。

一つ目の活動は、能登半島支援募金活動です。1月1日に起きた能登半島地震を受け、私たちできることを考えた際に募金活動することを決めました。募金活動は、冬休み最終日だった。1月8日を皮切りに、約2か月間で8回行ってきました。校内の募金活動では1月15日17日の朝に食堂前で代議員と協力して全校生徒に向けて募金活動を行いました。事前に報告をしていましたが、たくさんの生徒が協力をしてくれました。また1月31日には教員に向けて職員室の中で呼びかけました。続いて校外での活動を紹介します。豊川稲荷の門前では1月8日に豊橋中央高校、1月9日にインターアクトクラブ、2月17日に高校生フェスティバルと言う団体と協力して行いました。また1月29日30日には部活動主務と豊川駅前で行いました。地域の方への募金活動では、たくさんの方が協力してくれました。中には声をかけてくれる方や、車から手を伸ばして募金をしてくれる方もいました。ここで募金活動に参加した生徒会執行部の感想をお願いします。

能登半島支援募金を行ってみて、私は人の心の温かさを改めて感じる事ができました。とても寒い中で募金活動を行い大変でしたが、何人もの人が頑張っただけで声をかけてくださったりしてくれたので、大変だけ頑張ろうと思える事ができました。また部活動支部の人と一緒に募金活動をした時は、支部の人も大きな

声を出して呼びかけてくれてとても嬉しかったし、この募金活動を行って良かったと思いました。

次に地域清掃について話します。地域清掃では、豊川駅や稲荷口駅、駅稲荷公園など豊川高校生が登下校時に多く使うところを清掃しました。全校生徒にも呼びかけ第3回となる今回は、演劇部やインターアクトクラブ、男子バスケットボール部などの部活動参加もあり、80名近くの生徒が地域清掃に参加してくださり、日ごろの感謝を込めながら豊川の街を清掃しました。ここで、参加してくれた生徒の感想を紹介しようと思います。「タバコを吸う人は少ないのに、タバコの吸い殻がとて多かったです。」「通りすがりのおじさんに頑張ってねと声をかけてもらい嬉しかった。」「などの感想いただきました。私が今回地域清掃をやっている良いなと感じた事は、第2回の時に比べて、缶やペットボトルの量が減っていたことと、清掃をする意欲のある人が増えた気がするということです。反省点としては、前の生徒と後の生徒で離れてしまったことです。これを改善策としては、生徒会が声掛けを行ったり、ゴミ袋の数を増やすことで解決可能だと思うので、次回の地域清掃から取り入れていきたいと思っています。この活動は継続していくことが重要だと私は思っているので、反省を活かしつつ、もっと多くの生徒に参加してもらえるように頑張っていきたいです。

次に供養塔清掃についてです。1945年8月7日に豊川海軍工廠が空襲に2,500以上の方が命を落としました。私たち豊川高校の先輩6人もこの空襲で亡くなられており、8月7日は豊川高校にとって大切な日です。また、この日は毎年、豊川高校の登校日となっており、校内で追悼式が行われています。戦後この空襲で生き延びた海軍工廠の従業員や遺族の方々が中心となって八七会を設立し、戦没者の慰霊や語り継ぎなどを行ってきました。しかし、2020年8月7日、会員の高齢化のためやむなく活動終了となってしまいました。私たち生徒会は、戦争の痛みを風化させないために、そして平和を未来につなげていくために、八七会の意思を受け継ぎ、供養塔の清掃を続けていくことにしました。現在、毎月7日の朝に供養塔清掃を行っています。生徒会執行部だけでなく、部活動やクラスからの参加もあり、少しずつ平和の輪が広がっています。ここで供養塔清掃に参加した生徒の感想をお願いします。

僕は、供養塔清掃活動に半年間参加して、戦争の悲惨さを改めて知りました。被災当時どんなことをしていたかとの記事を見たり、ネットで調べたりして、こんなことは起こってはいけないものだとして以前より強く感じ

ました。清掃しているとお供え物だと思われるものも置いてあり、地域の人の供養する気持ちと八七会の方の語り継ぎがちゃんと人々に伝わっているんだなと思いました。各部活動から参加してくれている人たちも、綺麗にしようと思欲的になって清掃をしてくれており、僕も頑張ろうと言う気持ちが湧いてきました。これからも清掃活動を頑張っていきたいと思っています。これで豊川高校の発表を終わります。ご清聴ありがとうございました。

豊川工科高校のボランティア活動発表 Zoom



豊川工科高校の活動報告をします。

まず、子どもモノづくり教室についてです。毎月第3土曜日に、学校の近くにあるプリオ

で開催しています。小学4年から6年生を対象としたモノづくり教室です。製作時間が3時間のため、とても難しいものを作っていて、小学生には難しく指導員の方々と私たちが教えながらやっています。幅広い年代の方々と話をするため、自然とコミュニケーション能力があがりました。

次に豊川リレーマラソン2023についてです。主に力仕事が多く、会場設営を行いました。少しですが、選手の誘導も行いました。

3つ目は、国府小学校のモノづくり教室についてです。夏休みに国府小学校でのモノづくり教室を行いました。私たちだけのモノづくり教室のため、あまり本格的なものを作れませんでした。それでも身近で手に入るものを使って2つ作品を作りました。とても楽しそうに遊んでいて、やって良かったと感じました。

4つ目は、冬の献血2024についてです。豊川市総合体育館前で行いました。私たちは、会場の設営と後片付けを行いました。この日はよく晴れていたため、多くの方が献血に参加してくれました。

最後に野菜作りについてです。今年の冬ごろから苗を植え始めました。目的としては、地産地消について学ぶために植えました。まだ始めたばかりなので進展はあまりありませんが、今後も頑張っていこうと思います。

この1年のボランティア活動を通して、学んだことは人からの感謝の喜び、そして社会への貢献、幅広い年代の方と関わりを持つことができたことです。しかし、活動

が不定期なため、ボランティア部の部員が少なく活動が困難な場面が多くありました。今後は、新たなボランティアの挑戦や活動者を増やしていくために感謝される嬉しさを実感してもらえる活動を行っていくつもりです。ご清聴ありがとうございました。

★ボラン・コラボ・穂の国7交流会

テーマ

ボランティア活動をして印象に残った事。
また、これから今後どのようなボランティアに携わってみたいか？

話し合いのまとめ

- 募金活動をしていて暖かい言葉をかけてもらって良かった。
- 清掃活動をして地域の人たちに喜ばれてよかった。
- 地域と関わるボランティア活動を行っていきたい。
- 豊川市内の高校が一緒になってボランティア活動を行ってみたい。
- 募金活動はとても寒いので、ネットで募金ができるようになるとよい。

